

# 平成28年第5回鹿追町議会臨時会会議録

## 1 議事日程第 1号

日時 平成28年11月7日(月曜日) 午前10時00分 開 議

場所 鹿追町議会議場

- |              |                                |
|--------------|--------------------------------|
| 日程 1         | 会議録署名議員の指名                     |
| 日程 2         | 会期の決定について                      |
| 日程 3         | 諸般の報告                          |
| 日程 4         | 行政報告                           |
| 日程 5 議案第 79号 | 平成28年度鹿追町一般会計補正予算(第8号)<br>について |

## 2 本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

## 3 出席議員(11名)

1番 山口 優子議員	2番 武藤 敦則議員	3番 畑 久雄議員
4番 台蔵 征一議員	5番 加納 茂議員	6番 上嶋 和志議員
7番 川染 洋議員	8番 狩野 正雄議員	9番 吉田 稔議員
10番 安藤 幹夫議員	11番 埴渕 賢治議員	

## 4 欠席議員(なし)

## 5 本会議に説明のため出席したもの

町 長	吉 田 弘 志
農業委員会会長	櫻 井 公 彦
教育委員会教育長	大 井 和 行
代表監査委員	野 村 英 雄

## 6 町長の委任を受けて説明のため出席したもの

副町長	松本新吾
総務課長	喜井知己
企画財政課長	渡辺利信
町民課長	島かおる
農業振興課長	菅原義正
建設水道課長	津田祐治
商工観光課長	西科伸之
兼ジオパーク推進室長	
福祉課長	佐々木康人
瓜幕支所長	檜山敏行
病院事務長	菊池光浩
子育てスマイル課長	浅野富夫
消防署長	内海卓実
会計管理者	松井裕二
総務課総務係長	武者正人
企画財政課財政係長	佐藤裕之

7 教育委員会教育長の委任を受けて説明のため出席したもの

学校教育課長	大前健也
社会教育課長	浅野悦伸

8 農業委員会会長の委任を受けて説明のため出席したもの

事務局長	櫻庭力
------	-----

9 議会事務局職員出席者

事務局長	黒井敦志
書記	坂井克巳

平成28年11月7日（月曜日）午後10時00分 開議

○議長（埴淵賢治）

ただいまから、平成28年第5回鹿追町議会臨時会を開会します。

これから本日の会議を開きます。本日の議事日程はお手元に配布のとおりであります。

---

日程1 会議録署名議員の指名

○議長（埴淵賢治）

日程1、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、会議規則第125条の規定によって、5番、加納茂議員、6番、上嶋和志議員を指名いたします。

---

日程2 会期の決定について

○議長（埴淵賢治）

日程2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。本臨時会は、本日1日間としたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（埴淵賢治）

異議なしと認めます。本臨時会は、本日1日間とすることに決定をいたしました。

---

日程3 諸般の報告

○議長（埴淵賢治）

日程3、諸般の報告を行います。議長としての報告事項は、印刷してお手元に配布のとおりであります。内容をご覧の上、ご了承願います。これで諸般の報告を終わります。

---

日程4 行政報告

○議長（埴淵賢治）

日程4、行政報告を行います。吉田弘志町長。

○町長（吉田弘志）

28年の第5回鹿追町議会臨時会が開催されるにあたりまして、行政の諸般について報告を申し上げます。まず定例の報告以外で若干、報告させていただきますけれども、この度北海道社会貢献賞ということで埴淵議長様が11月の30日、北海道知事から表彰を受けるということでもあります。内容としては地方自治の振興に貢献されたという内容でありますけれども、長い間行政万般に亘っての議会議員として、あるいは議長としてご尽力をいただいたことについての表彰であります。まずもって心からお祝いを申し上げる次第であります。併せてこの度北海道産業貢献賞として商工会長の三井様が受賞

されることになりました。表彰の日程はそれぞれ内容によって異なりますけれども、商工会長については11月14日、表彰を受けられるということでもあります。同時に北海道防犯協会からの表彰も受けられるということでもあります。その他にうれしいお話として第47回のジュニアオリンピック陸上競技大会におきまして鹿追中学校の1年生の菅原広希君という生徒が1,500メートルの種目におきまして全国63名の中でチャンピオンということになりました。タイムは4分11秒91ということでありまして、自己記録、北海道で出した時の記録をさらに縮めたということでありまして、非常に将来の大成がですね、望まれるところであります。これもまた大変おめでたいということでありまして心からお喜び申し上げると同時に、私ども自治体としても鹿追町としても将来に向けてしっかりとこれらの有力な子どもたちに対して支援をしていきたいというふうに考えているところであります。9月の6日に鹿追町農業振興対策推進委員会、農業委員会合同の作況調査が行われております。これについては、今、私が申し上げるまでもなく今年状況であります。非常に今年は昨年と比較をいたしますと平年作の70%ぐらいというようなお話が聞かれておりますけれども、すべての作物において非常に良くないという状況でありまして、これらについては共済制度によっての手当てがされるというふうに考えておりますけれども、今後はですね、農家の経済にどういうふうに影響してくるのかについても把握をして必要な行政対応もしていく必要があるかなというふうに考えているところであります。9月の8日には台風の関係につきまして緊急要望を行っております。これについては何回も国の関係の委員会、あるいは総理大臣等におかれましても十勝入りをされているということでありまして何回か各委員会に対しての要請活動を行っております。要請内容についてはすでにご案内のとおりでありますけれども、4つの台風での十勝の影響、これらに対する大きなものとしては激甚台風ということでありましたけれども、これについてはそのとおり閣議決定をされたということでありまして、今その復旧に相勤めているわけでありまして、幸か不幸かですね、本町においてはこの激甚という内容での救済というところにはほとんど該当をしないというのが実態であります。激甚については復旧をするということでありまして、規定のすでにあるものについての原型に戻すということでありまして、この内容については、私どもは改良復旧ということによって将来に備える内容の復旧をして欲しいということでありまして、いずれにしてもそれらの内容についてはですね、今回、そうした考え方の視点に立っての査定が行われているというふうに伺っておりますけれども、該当のし

ない内容においては、これらの改良復旧ということもないということでもあります。ただ私はこれまでもですね、振興局、あるいは北海道開発局に対して本町においては防災ということで、まさに災害の起きているその状況の中で緊急避難をしていくということで、それに対する手当て等々が必要ではないかと、そうしたことについてしっかりと見ていただかなければ災害に対する地方自治体としてのこれからのですね、ありようについていろいろと問題がでるというお話をしておりますけれども、これについては振興局の方でもですね、大変理解を示していただきまして、何らかの方法で町村が持っている支出関係、これに対する手当てをですね、考えていきたいということで激甚のような90数%というものではないと思いますけれども、何らかの手当てがされるだろうというふうに期待をしているわけでありまして、今後ですね、さらにこれらについては要望を重ねていきたいと、このように考えているところであります。先ほどジュニアオリンピックの関係についてお話をしましたけれども、その前段として第23回北海道中学校新人陸上大会の関係につきましては、本町の菅原広希君、あるいは瓜幕の堀籠翔太君が素晴らしい成績を上げているということで、当人からのご報告を伺っているところでございます。9月25日、鹿追町ふるさと産業まつりが実施をされました。大変盛会な内に終わりました。厳しい農業状況の中ではありましたけれども、めげずそれに立ち向かうという意味での元気づくりということも想定をしながらの産業まつりでありましたけれども、町内外から大変大勢の方がおいでをいただきまして、盛りだくさんなメニューを一日満喫をされたというふうに考えているところであります。10月の4日、環境省自然観光局上士幌自然保護官、十勝西部森林管理署に対して災害等々での要望をしております。これについては環境省については然別湖等々の関係、それから森林管理署につきましては然別に流入をする河川の土砂の問題、山肌が土砂によって崩れていると、そのことが風光明媚な然別湖に対して非常に大きな影響を与えているということでのお話をさせていただきました。それぞれこの問題等々については非常に強い関心を持っておりまして、今後、これらの復旧については一所懸命がんばってやっていきたいというお話をいただいているところであります。特に森林管理署につきましてはそうしたことについての予算の確保にもしっかりと対応していくというお話をいただきまして、非常にあのそのときの話でありますけれども、峰越林道、これらについてはずっとこの復旧を要望してまいりました。新署長はですね、これに対して実は復旧に向けてすでに工事を終わらせていたところに台風が来てですね、またやられてしまったという状況であること

をお話をいただきました。これについてはさらにですね、来年度、峰越林道についての手当てもしていきたいというお話をいただいているところであります。さらに29年の新規事業に関する事前の情報提供をいただきましたけれども、然別の自然休養林の関係事業としてあの辺一体をですね、モデル地域という指定をして今後の周辺整備等を行なっていきたいという予定でありまして、これは農林水産省が行う事業でありますけれども、全国で100カ所程度、そして29年はその内の30カ所、全国に指定をしたいということでもありますけれども、できればですね、鹿追町をその30の中に入れていきたいということでありまして、ぜひ了解をしていただきたいというお話をいただいております。決定ではありませんけれども、そういうことになればですね、休養林等々の整備が一層進むのかなというふうに期待をしているところでございます。10月の5日、帯広開発建設部長及び十勝総合振興局長に対して台風関係の同じく要望をさせていただきました。内容については前段申し上げて内容とほぼ同じであります。10月の8日の日にですね、十勝町村会の情報交換ということでこの台風に対するその後の情報交換をしたわけでもありますけれども、今後ですね、十勝町村会としてもさらにこの復旧に向けての要望を重ねていくということでありました。同時にですね、当日、環境省の方から古来室長の来庁いただきまして環境省の持っている予算の29年度の要望状況についてお話をいただきました。環境省は監督官庁というイメージが非常に強くてほとんど予算を持っていないと、あれも駄目これも駄目というお話はありますけれども積極的に何かを地方で行うということについては、なかなかイメージとして持てない官庁でありましたけれども、環境省もですね、今後はやはり国立公園等々含めてしっかりと地方と結びつきのある機関になるということで、29年度予算の説明をいただいたわけでもありますけれども自然公園の中の整備、あるいはゴミの問題、エネルギーの問題等々について非常に有効なお話をいただいたところでございます。本町としても今後はですね、その中で使えるものについてはぜひともそれらの支援を受けようというふうに今考えているところでありますけれども、その中でいわゆる化石燃料をどう使ってですね、もらっている公共施設等々に対する再生、あるいは自然エネルギーへの転換ということについても支援の対象になっておりますので、本町としてもそれについて今後、施設状況なんかを検討してもらっていく必要があるだろうというふうに思っています。10月の10日、第7回日本ジオパーク全国大会臨時総会が行われております。これはあの臨時総会を持ったというのは実は全国に今41か2だったと思うんですけれども、ジオパークが日本の認定になって

おります。この事務局の職員がですね、段々と増えるにつけてやはりしっかりした体制を作る必要があるだろうと。しかも今回ユネスコの認定ということで今度は世界のジオパークという視点からの認定等々が行われるということになれば、やはり国内における体制というものが必要であろうということからですね、事務局体制をしっかりと作り上げていくということで、これについては国の方の支援が今現在ほとんどないという状況の中でこれまでは先進地の町村がですね、犠牲的にこれらを担ってきたということでありまして、ぜひとも構成町村が支援をする必要があるだろうということから臨時総会という動きになりまして、今後そのための町村の負担というものがあるわけでありまして。準、それから認定、正会員という段階があるわけでありましてけれども、本町については日本ジオパークの認定を全国33番目、北海道5番目の認定を受けているわけがあります。そうした中で負担金がこれまで20万でありましたけれども、倍の40万ということでお話をされたところであります。現在の状況から見ればですね、非常に高い負担金になるかなというふうに思いますけれども、当面の状況としては止むを得ないのではないかとこのように考えております。しかしこのユネスコということになれば文科省がですね、関係してくるわけですから、そうすると国の支援も必要ではないかということから、今後、国に対してですね、応分の支援をいただくべく行動をしていくということで一致をしているところであります。またあの当日の総会の時にですね、いろいろなイベントが開催をされたわけでありましてけれども、ジオパークというものの、に対するこれからの活動の中で防災と自然災害というようなことをですね、大きく取り上げられておりました。いわゆる地球創生ということからいけばですね、どの地域がどういう土壌、岩石によってできあがっている歴史的なもの等も含めてジオパークとしての掘り下げをすることによって自然災害の対処の仕方等々について、非常にこうわかりやすく体制も作ることができるのではないかとこのように思っています。当日あのモデル施設としてちょっとした施設を作ってですね、上から水を流してまさに土砂崩れがどうやって起きるのか。山間部にあっては谷間を通ってですね、上からどういうふうに水がくるのか。それが一気に流れてくるということは、どういうことなのかということですね、施設、モデルのプランを作ってですね、実験をしておりましたけれども、私は担当とですね、本町のジオパークの施設の中にも、こういうものを作るのも非常に良いことだというお話をさせていただいたところであります。10月の18日、鹿追高等学校看護科誘致期成会の要望ということで私と道議会議員、大谷先生と担当職員ということで荒川副知事

と話し合いをさせていただきました。これについてはあのまだ知事にお話をしていないという状況の中でのお話でありましたから、できるだけあまり大きくしないということで情報を入れるという意味において行ってもらったわけですけれども、道教委が地域部局に対してお話をしている内容等についてもですね、副知事の認識の状況からみるとこれまで私どもが説明を受けてきている内容とほとんど変わっていない。職員の確保の問題等々についてもですね、同じお話ししか伺っていないということでありまして、その内容について私どもの方が申し上げたらそんなことになっているのかというようなことで、とてもでないけれどもできないというお話はございませんでした。一日も早くですね、鹿追町に行って現場も見てみたいし、また鹿追の学習、いろんな事業についても見たいということで今、日程を調整をしているところでございまして、願わくは私は11月中にですね、来ていただきたいというお話をしております、第1段階、17日というのが想定されているわけでありまして、本町だけということにもならない、近隣の町村にも少し顔を出したいというような内容もありまして、今、さらに調整をしているところであります。10月の20日、北海道経済部の観光振興監がお出でになりました。これについては観光地域として今回の災害でどういう影響を受けたか、これらについて振興監としての立場から理解をし今後ですね、北海道のこうした問題についての取り組みをしていきたい。風評被害等もどれほどがあるのかというようなお話もいろいろとございました。10月27日に災害状況の調査ということで帯広財務所長がお出でをいただきました。財務省としての立場からですね、災害についてどうあるべきかについて財務省に対しての意見を申し上げる基礎として本町に、あるいは十勝の状況をですね、把握をしたいということでお出でになったわけでありまして、私の方からは先ほどお話したとおり、いわゆる激甚ということで採択されたことは結構だけれども、そうでない状況の中での町村の支出が増えているということについてのやはり何らかの手当てが必要ではないかということをお話をさせていただきました。非常にあのそのことについては関心を持っていただきまして、ぜひとも防災という視点からもですね、やはり災害の起きない方が経費的にもやはり少ない金額、財源で終わるわけでありまして、そうしたことをしっかりと伝えたいというお話をいただいたところであります。10月27日は鹿追町まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進会議を行いまして今後のですね、事業の執行、本町としてあげている事業についてはですね、すべて採択をされているわけでありまして、地方創生加速化交付金5事業、それから地方創生推進交付金3

事業等々についての内容の説明を行なったところであります。それからもう一つあの鹿追の環境保全センターの瓜幕バイオガスプラントの運営状況でありますけれども4月稼動以来ですね、順調に動いておりまして消化液の散布等々についても適正に行われているというふうに思っているところであります。まだ能力的に見ますと私はだいたい50からそれを超えているところかなというふうに思っておりますけれども、発電内容ですね、1メガの一応能力を持っているわけではありますが、通常750という考え方からいけばですね、発電量についてもだいたい70から80%という状況でありまして、上半期の発電、売電状況としては1億400万円を超えているということでありまして、今後ですね、さらなるフルの稼動を進めていくべくですね、努力をしていきたいというふうに思っております。それからあの国民健康保険の税金の関係、広域になった時の関係について皆さん方も新聞でご承知かと思っておりますけれども、本町は全道でもですね、その激変になる町村に入っております、3番目に高いわけであります。これはあの保険税が高いということではなくて、ようするに広域になると鹿追の所得状況から見るとこうなるよという概算の概算のような荒っぽい数字でありますけれども、いずれも、いずれにしてもですね、やはりそういう状況にあるということについてはご承知をおいていただければというふうに思っております。北海道もですね、そういう激変をすることについての何らかの緩和措置はですね、取りたいというお話をされておりますけれども、仮にされたにしてもそれは何年かの間ということでありまして、いずれは広域的なそういう中での措置がされてまいります。そうなればですね、本町は非常に農業所得の高い町であります。国保においてもですね、そういう状況にあるということをご理解をいただきたいというふうに思っております。以上、行政報告に代えさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（埴淵賢治）

これで行政報告を終わります。

---

日程5 議案第79号 平成28年度鹿追町一般会計補正予算（第8号）について

○議長（埴淵賢治）

日程5、議案第79号、平成28年度鹿追町一般会計補正予算（第8号）ついてを議題とします。本案について提案理由の説明を求めます。松本新吾副町長。

○副町長（松本新吾）

議案第79号は平成28年度一般会計補正予算（第8号）となるものであります。平成28年度一般会計補正予算（第8号）は次に定めるところによるといたしまして、第1条は歳入歳出予算の補正であり、歳入歳出にそれぞれ5,518万4千円を追加しまして、総額を89億6,632万1千円とするものであります。補正予算の内容につきまして歳出8ページよりご説明申し上げます。款項目、議会費の旅費で61万7千円の追加、総務費、総務管理費、財産管理費でいずみ野団地第5次宅地分譲用地及び道路用地取得のため公有財産購入費で合計3,660万円の追加、災害復旧費、その他公共施設・公用施設災害復旧費、その他公共施設・公用施設災害復旧費の役務費で12万7千円、使用料で1,784万円のそれぞれ追加であります。次に歳入前ページからご説明いたします。町税、町民税、個人の現年課税分で958万4千円の追加、款項目、地方交付税の地方交付税で900万の追加、繰入金、基金繰入金、町づくり基金繰入金の町づくり基金繰入金で3,660万円の追加となるものでございます。以上、一般会計補正予算（第8号）についてご説明申し上げます。ご審議の上、議決を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

○議長（埴淵賢治）

これから質疑を行います。質疑なしと、5番、加納茂議員。

○5番（加納茂）

支出の、支出の方で災害復旧費の中でですね、一般廃棄物最終処分場調整池浸出水引抜作業料ってありますけれども、これどういうことなのでしょう。

○議長（埴淵賢治）

島かおる町民課長。

○町民課長（島かおる）

はい、加納議員のご質問にお答えいたします。最終処分場、入りまして一番奥が処理、埋立処理場とその入り口の横にですね、ため池があるのはご存知だと思いますが、場内から引き抜いた水をそこでまず処理をしております。そこからまた中に入ってさらに処理をしていくというところの途中の場内から場内、溜まった水を一度引っ張る貯水池というものでございます。場所はおわかりでございますよね。そこですね、その池がですね、一連の台風により雨水が非常に溜まった状態で、一日に引ける水の量というのが決まっておりますので、それ以上に雨水が溜まるとですね、あその池が満水になって溢れる寸前のところまでいって、これ以上雨が降るとあそこから水が全部出てしまうと

ということで今回急遽ですね、その水を抜いたということでございます。まずあの今回そこにあの通常は順序良く水を抜いて処理をしてそして流すということが出来るんですけども、今回の一連の台風による雨、それからですね、処理場の奥が土砂崩れを起こしまして、雨水の他にですね、土砂崩れから出ました地下水、いわゆる地下水なんですけれども、それが直接、場内に入りまして場内がどんどんどんどん水が溜まっていったというような状況にあります。それでどうしても貯水池に引っ張る量が通常よりも多くなってしまって、そういう状態になってしまって溢れることを避けるためにばっ気したということでございます。はい、すいません。それと併せてですね、あの今、場内の入り口につきましては災害復旧費で前回補正させていただいたところでございますが、奥の土砂崩れにつきましてはまず水を止めるという作業から始めなければならないということで、今後ですね、そちらにつきましても土砂崩れをしたままで今、水を、水の道を変えましたので今後災害復旧ということでまたそこは直していかなければならないというような状況でございますので、併せてそちらをよろしくお願いしたいと思っております。

○5番（加納茂）

わかりました。

○議長（埴淵賢治）

ほかありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（埴淵賢治）

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。次に討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（埴淵賢治）

討論なしと認めます。これで討論を終わります。これより議案第79号を採決します。この採決は起立によって行います。

お諮りします。本案は原案のとおり決定することに賛成の方はご起立願います。

起立10名

○議長（埴淵賢治）

起立多数であります。本案は原案のとおり可決されました。

以上で、本日の日程は全部終了いたしました。これで会議を閉じます。

平成28年第5回鹿追町議会臨時会を閉会します。

閉会時分 10時37分